作成日　1999/04/09
改訂日　2026/07/24（第14版）

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	クリンバーZ
製品コード	16374
整理番号	16374S014
供給者の会社名称	株式会社コスモビューティー
住所	大阪府大阪市中央区内本町1-1-1
担当部門	研究部
電話番号	06-7639-5361
FAX番号	06-7639-5368
推奨用途	多目的表面洗浄剤（アルカリ水性タイプ）
使用上の制限	推奨用途以外でのご使用はご遠慮ください。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康有害性

急性毒性（経口）分類できない
急性毒性（経皮）分類できない
急性毒性（吸入：気体）区分に該当しない（分類対象外）

急性毒性（吸入：蒸気）分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）分類できない
皮膚腐食性／刺激性 区分1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分1
呼吸器感作性 分類できない
皮膚感作性 分類できない
生殖細胞変異原性 分類できない
発がん性 分類できない
生殖毒性 分類できない
生殖毒性・授乳影響 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）分類できない
誤えん有害性 分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期（急性）分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）分類できない
オゾン層への有害性 分類できない

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語　危険

危険有害性情報　H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

注意書き

安全対策

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。（P260）
取扱い後はよく手を洗うこと。（P264）
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。（P280）

応急措置

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。（P301+P330+P331）

皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

直ちに医師に連絡すること。(P310)

特別な処置が必要である。(P321)

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)

保管　施錠して保管すること。(P405)

廃棄　内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲（%）	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ポリ(オキシアルキレン)＝アルキルエーテル	非公開	-	あり	既存(非公開)	非公開
グリコールエーテル	1.0-5.0	-	(2)-3079	既存	56539-66-3
ケイ酸塩	1.0-5.0	Na2O3Si	(1)-508	既存	6834-92-0
エチレンジアミン四酢酸4ナトリウム	1.0	C10H12N2Na4O8	(2)-1265	既存	64-02-8
水酸化カリウム	＜1.0	HKO	(1)-369	既存	1310-58-3
色素	＜0.1	非公開	-	既存	非公開
水	残部	H2O	なし	整理番号なし	7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合　気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合　直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合　口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤　この製品自体は、燃焼しない。

使ってはならない消火剤　情報なし

火災時の特有の危険有害性　燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法　消火作業は、風上から行う。
周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置　消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置　作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項　漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

少量の場合、吸着剤（土・砂など）で吸着させ取り除いた後、残りを大量の水で洗い流す。

盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。

必要があれば希塩酸、希硫酸などで中和する。

中和の際は、発熱、発煙などに注意する。

二次災害の防止策　付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い　技術的対策　『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項　保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉じん、ミストを吸入しないこと。

接触回避　『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管　安全な保管条件　『10. 安定性及び反応性』を参照。

施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度（産衛学会）	許容濃度（ACGIH）
水酸化カリウム	未設定	【最大許容濃度】2mg/m3	設定あり

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値／天井値
水酸化カリウム	未設定	未設定

許容濃度（ACGIH）参照先：https://www.acgih.org/

設備対策　蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具	呼吸用保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。
	手の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。 状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護手袋等適切な保護具を着用すること。
	眼、顔面の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。
	皮膚及び身体の保護具	リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。 状況に応じて、不浸透性、不透過性の保護衣、履物等適切な保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態		液体
形状		液体
色		青色透明
臭い		わずかに特異臭
融点／凝固点		データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲		データなし
可燃性		不燃性
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		引火せず
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		13.0（代表値）
動粘性率		データなし
溶解度		水と任意の割合で混合する。
n-オクタノール／水分配係数		該当しない
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		1.04（代表値）
相対ガス密度		データなし
粒子特性		該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では安定。
化学的安定性	通常の取扱条件において安定である。
危険有害反応可能性	強酸化剤との接触を避けること。
避けるべき条件	高温（40℃以上）になる場所、直射日光の当たる場所、凍結のおそれのある場所で保管しないこと。
混触危険物質	ハロゲン類、強酸類、酸化性物質と接触しないよう注意すること。
危険有害な分解生成物	現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	急性毒性推定値が16259.1781813mg/kgのため区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	経皮	急性毒性推定値が62500mg/kgのため区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

吸入	（気体） GHS定義による気体ではない。 （蒸気） 急性毒性推定値が50000ppm超のため区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 （粉じん・ミスト） 急性毒性推定値が12.5mg/l超のため区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
皮膚腐食性／皮膚刺激性	製品のpHが13のため塩基（pH≧11.5）とし、区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	製品のpHが13のため塩基（pH≧11.5）とし、区分1とした。
呼吸器感作性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
皮膚感作性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖細胞変異原性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
発がん性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖毒性	（生殖毒性） 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 （生殖毒性・授乳影響） 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 ※区分2(神経系)は1.15%含まれる。 ※区分2(全身毒性)は1%含まれる。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
誤えん有害性	動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性　短期(急性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性　長期(慢性)	(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	海上規制情報	IMOの規定に従う。
	UN No.	1760
	Proper Shipping Name	その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)
	Class	8
	Packing Group	Ⅲ
	Marine Pollutant	Not applicable
	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex Ⅱ, the IBC Code	Not applicable
	航空規制情報	ICAO／IATAの規定に従う。
	UN No.	1760
	Proper Shipping Name	その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)
	Class	8
	Packing Group	Ⅲ
国内規制	陸上規制	消防法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	1760
	品名	その他の腐食性物質(液体)(他の危険性を有しないもの)
	クラス	8
	容器等級	Ⅲ
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当

航空規制情報　航空法の規定に従う。
国連番号　1760
品名　その他の腐食性物質（液体）（他の危険性を有しないもの）

クラス　8
等級　Ⅲ
緊急時応急措置指針番号　154

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム
メタけい酸ナトリウム並びにその五水和物及び九水和物
3－メトキシ－3－メチル－1－ブタノール

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム（安衛則別表第2の番号：275）（5%未満）（営業秘密）
メタけい酸ナトリウム並びにその五水和物及び九水和物（安衛則別表第2の番号：2001）（5%未満）（営業秘密）
3－メトキシ－3－メチル－1－ブタノール（安衛則別表第2の番号：2191）（5%未満）（営業秘密）

腐食性液体（労働安全衛生規則第326条）

皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質（安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和7年11月18日告示第301号・第1号、厚生労働省HP皮膚等障害化学物質の一覧）

ジナトリウムジオキシド（オキソ）シラン；メタけい酸ナトリウム

労働安全衛生法（表示・通知対象物質、がん原性物質、皮膚等障害化学物質等）（令和9年施行分）

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2）

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム
メタけい酸ナトリウム並びにその五水和物及び九水和物
3－メトキシ－3－メチル－1－ブタノール

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2）

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム（安衛則別表第2の番号：275）（5%未満）（営業秘密）
メタけい酸ナトリウム並びにその五水和物及び九水和物（安衛則別表第2の番号：2001）（5%未満）（営業秘密）
3－メトキシ－3－メチル－1－ブタノール（安衛則別表第2の番号：2191）（5%未満）（営業秘密）

皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質（安衛則第５９４条の２第１項、令和４年５月３１日基発０５３１第９号、令和７年１１月１８日告示第３０１号・第１号、厚生労働省ＨＰ皮膚等障害化学物質の一覧）

ジナトリウムジオキシド（オキソ）シラン；メタけい酸ナトリウム

労働安全衛生法（表示・通知対象物質、がん原性物質）（令和１０年施行分）

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第５７条第１項、施行令第１８条第２号～第３号、安衛則第３０条別表第２）

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム

メタけい酸ナトリウム並びにその五水和物及び九水和物

３－メトキシ－３－メチル－１－ブタノール

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２第１項、施行令第１８条の２第２号～第３号、安衛則第３４条の２別表第２）

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム（安衛則別表第２の番号：275）（5%未満）（営業秘密）

メタけい酸ナトリウム並びにその五水和物及び九水和物（安衛則別表第２の番号：2001）（5%未満）（営業秘密）

３－メトキシ－３－メチル－１－ブタノール（安衛則別表第２の番号：2191）（5%未満）（営業秘密）

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

第１種指定化学物質（法第２条第２項、施行令第１条別表第１）

エチレンジアミン四酢酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩（管理番号：595）（1.0%）

化審法

優先評価化学物質（法第２条第５項）

消防法

非危険物

船舶安全法

腐食性物質（危規則第３条危険物告示別表第１）

航空法

腐食性物質（施行規則第１９４条危険物告示別表第１）

港則法

その他の危険物・腐食性物質（法第２０条第２項、規則第１２条、危険物の種類を定める告示別表）

特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）

特定有害廃棄物（法第２条第１項第１号イ、平成３０年６月１８日省令第１２号）

１６．その他の情報

参考文献

原料メーカーSDS

独立行政法人　製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」データベース（CHRIP）

厚生労働省　職場のあんぜんサイト「GHS対応モデルSDS」

その他

記載内容の取扱い

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。また、記載事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。また、記載内容は新しい知見などにより予告なく改訂することがあります。